

令和5年、「数理教育コース」開設「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」必修化

文理融合教育で新たな知を拓く



第91号 令和4年5月



注目記事 2面
令和4年度 皇學館大学入学式 653名が夢への第一歩を刻む
3面
志高く、706名が巣立つ 令和3年度 学位記・修士証書授与式
地域連携 4面
本学と鈴鹿中等教育学校・鈴鹿高等学校が連携
5面
芝崎俊也氏が皇學館高等学校・中学校校長に就任
6面
令和3年度 教学振興会寄付者芳名
インフォメーション 7面
人事異動、シリーズ「卒業生奮闘中」ほか
8面
卒業生随想

K-らいふ(全学一体第168号)
退任によせて、河野学長×学生座談会「文理融合カリキュラムへの提言」ほか



発行・編集 学校法人皇學館 企画部
TEL 0596-22-6496・8600

大学 大学院 文学部 教育学部
専攻科 現代日本社会学部
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704

高等学校・中学校
三重県伊勢市楠部町138
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

予測が難しい時代においては陳腐化しない普遍的なスキルに加え、人工知能(AI)等のテクノロジーを使いこなす知識や技能に長けた人材が求められる。そうした社会のニーズに合わせるべく、本学では教育学部に令和5年度「数理教育コース」の開設(予定)や全学生対象の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」開講に向け準備を進めている。賀陽宮邦憲王の令旨には「わが国の歴史に根ざした道義と学問とを学び、実際の社会の中でこれを実践して文明の発展に寄与する」とある。建学の精神を令和の時代にふさわしい形で体現できる人材の育成をめざす。

文理を問わず「数理的思考」が必要

平成30年に文部科学省が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」では、情報を基盤とした社会においては「数理・データサイエンス等を基盤的リテラシーと捉え、文理を越えて共通に身に付けていくことが重要である」「特に、人工知能(AI)などの技術革新が進んでいく中においては、新しい技術を使っていく側として、読解力や数学的思考力を含む基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的な技能を持ち、その知識や技能を活用する力が求められている。

中高の数学教員免許が取得できる「数理教育コース」開設(予定)

令和5年4月より本学は教育学部教育学科に「数理教育コース」(中高の数学教員資格取得が可能)を開設する(予定)。その意義について中松豊教育学部長は「三重県の小学校では合格者の4割を本学学生が占めており、教育現場に与える影響は大きい。物事を多面的に捉える理数的なものの方をきちんと学び、実践できる教員の養成は我々の責務」と話し、算数・数学教育ゼミの上野



「苦手なことを強みに変えるのは自分次第」と上野助教

は今後ますます重要になる。上野助教は「情報の取捨選択、具体と抽象の行き来といった数学的思考力は今後ますます重要になる」と語った。



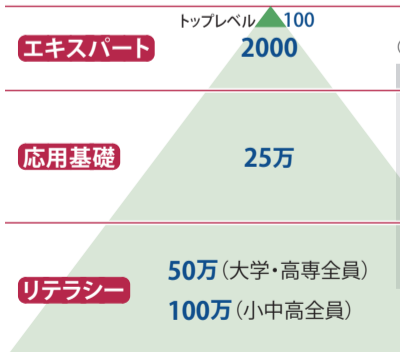
「文系の人たちが数字に慣れる土壌を整えたい」と話す中松教育学部長

数理・データサイエンス・AI教育プログラムが必修化

政府は令和元年6月に策定した「AI戦略2019」でデジタル社会の「読み書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の素養を身に付けた人材の育成が急務として、令和7年の実現を念頭に下表の教育目標を打ち立てた。リテラシーレベルにおいては文理を問わず全ての大学・高専生が課程で「数理・データサイエンス・AI」に関する初級レベルの知識・技能を習得すること、文理横断的な教育を含むリベラルアーツの推進、応用基礎レベルでは自らの専門分野に活用できる力の獲得が掲げられている。これを受け、文部科学省がモデルとなる「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を公表。政府が優れた教育プログラムを認定する制度もリテラシーレベル・応用基礎レベル両方で始まり、本学は両レベルでの認定をめざす。今後本学では、地域課題や社会問題に文理複眼の幅広い視野、総合知で挑む人材を育成すべく副専攻を設置し、理系科目に苦手意識がある学生にも丁寧な指導していく予定だ。

時代の要請であるとともに、本学としても文理融合型の新たな教育プログラム開発の好機として捉え、知の拠点として地域、社会の期待に応えていく。

●2025年目標(人/年)



●本学で開講される「数理・データサイエンス・AI」教育カリキュラム(予定)

Table with columns: 該当レベル, 科目名, 開講年度. Rows include AI基礎, データサイエンス・データエンジニアリング基礎, プログラミング・アルゴリズム基礎, 数学基礎, データサイエンス入門, 統計学基礎.

出典:「総合イノベーション戦略推進会議(第5回)資料」

4月30日「創立百四十周年・再興六十周年記念行事」を開催
本学は令和4年4月に「皇學館大学創立百四十周年・再興六十周年」を迎えました。4月30日(土)に開催された記念式典には学校関係者などおよそ300名の方にご参列いただきました。当日の様子は以下よりデジタル版をご覧ください。



研究室を訪れた人は、これを全部読んだのですか、と尋ねる。いや、これは調べるためのもので読むものではありません。とうそぶく。昔、ある人が半年使わなかった本は一生使わないから古本屋に売り渡す、と言っていた。たしかに、本棚を見れば、これはもう使わないだろうなと思う本が目に入るが、いやいや、また使うことがあるかも知れないと思う。▼実際、このことは確かあの本に載っていたと、久しぶりにひもとくこともあるし、その隣にあった本を読み返したら、こんなに深い示唆であったのかと反省することもある。▼この逡巡こそが、研究室のみならず、自宅も本であふれかえるという問題の元凶である。与えられている空間には限りがあるから、どうしても時間に比例して本は増えていく。▼それならば、新しい本を買わなければならないのだが、その我慢のきかないのが文学者の悲しい性である。▼新型コロナウイルス感染症の影響で、出掛けることが制限され、以前に増して本を読むことが多くなった。極めて個人的な話で恐縮だが、本の飽和問題もまた、コロナ禍といえるのかも知れない。

令和4年度入試状況

令和4年度入試は、長期的なコロナ禍による影響もあり、総志願者数が前年度比74.1%となった。そのような状況下でも、教育学部は前年度比97.2%と堅調な結果であった。教育学部では、令和5年度「数理教育コース(中高教員)」を設置し、中学・高校の数学教員免許が取得できるよう文部科学省に申請中。さらなる教員免許の充実が図られる。それに伴い、令和5年度入試では数理教育コース用の入試制度を新設する予定である。

学部・学科	募集人員	志願者数	合格者数	競争率
神道学科	60	153	118	1.3
国文学科	80	181	162	1.1
国史学科	80	251	207	1.2
コミュニケーション学科	80	185	156	1.2
文学部	300	770	643	1.2
教育学部	200	687	504	1.4
現代日本社会学部	120	261	219	1.2
大学計	620	1718	1366	1.3

「ウクライナ人道危機 救援金」募金箱を設置

伊勢市と本学が平成25年度より共同で実施してきた広報事業「『伊勢』と日本スタディプログラム」には各国の留学生が集い、ウクライナからは12名が参加している。そうした縁もあり、この度、伊勢市及び本学、皇學館中学校では「ウクライナ人道危機救援金」募金箱を設置した。「自分にも何かできることを」と募金をしたひとり、皇學館中学校2年の斎藤華さんは「ウクライナの人が少しでも安心安全な日常を取り戻す力になれば」と話した。いただいた篤志は日本赤十字社を通じてウクライナの救援活動にあてられる。



晴れやかな顔で記念写真を撮る新入生たち



生田愛奈さん

中野優子さん

高橋叶多さん

晴天にも恵まれ、式後は満開の桜の中を散策する新入生の姿も。また理事長、学長他で外宮内宮を参拝し、新入生の思いも込めて、入学の喜びと感謝を大御神にご奉告した。

物学ゼミに入り中学時から取り組んでいるフジノハナガイの研究を続けたいと話し、「研究以外にも今までの経験・体験に挑戦したい」と大学生活に期待を込めた。生田愛奈さん(現日)が本学を志望したのは兄(国史学科在籍)の友人によるCLL活動発表会を見に行ったことがきっかけ。「地域連携活動を通していろいろな人と出会いたい。多様な考えに触れる機会を持つて自分に自信を付けたい」と目を輝かせた。



キャンパス内を散策する新入生たち

令和4年度皇學館大学入学式 653名が夢への第一歩を刻む

令和4年度皇學館大学入学式が4月4日に挙行され、大学院6名、神道学専攻科19名、学部生623名、編入学生5名の計653名が入学した。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一堂に会しての式典・参拝行事は取り止め、入学生のみを対象に各学科・教室に分かれ開催された。

4月4日、午前10時に始まった入学式。マスク着用や換気など万全の感染対策のもと、それぞれの教室・会場で国歌清聴、令旨奉読、学部長また

は学科主任からの祝辞、教員紹介が行われた。高橋叶多さん(神道)は小学生の頃から家族で神宮参拝をすることが多く、高校生になると一人で神社巡りをするなど神職に憧れていたという。「神道学科には全国から学生が集まるので、新しい繋がりが増えるのが楽しみ」と話し、「神職の資格取得や神社での奉仕活動を頑張りたい」と意気込みを見せた。

「日常と関連が深い理科の楽しさを伝えるのは、本紙(第86号・90号参照)で紹介した中野優子さん(教育)だ。入学後は生

新任教職員紹介

この春から新たに加わった教職員の方をご紹介します

- 1 出身地・経歴等
- 2 趣味・特技等
- 3 座右の銘
- 4 一言メッセージ

皇學館大学

国文学科助教
平石 岳



- 1 福岡県◆同志社大学大学院文学研究科博士後期課程修了、大学図書館・公文書館で司書職
- 2 ラグビー、相撲など大男がぶつかる競技を見ること
- 3 健康第一
- 4 学生たちと一緒に「面白い」とはどういうことなのか、考えていきたいです。

教育学科准教授
小川 真由子



- 1 三重県◆浜松医科大学大学院医学系研究科修士課程修了
- 2 音楽鑑賞
- 3 初志貫徹
- 4 子どもたちの笑顔を増やせる保育者・教育者の養成に尽力してまいります。

教育学科助手
松村 かをる



- 1 三重県◆元保育所長
- 2 音楽鑑賞、掃除
- 3 感謝と笑顔
- 4 自分の経験を生かし、保育の楽しさ、やりがいを伝えられるよう頑張りたいと思います。

神職養成部神職養成担当主事

小林 尚彦



- 1 愛知県◆皇學館大学文学研究科神道学専攻博士前期課程修了
- 2 農業、林業、弓道
- 3 雨垂れ石を穿つ
- 4 真心と優しさをもって学生の力になれるよう精一杯頑張ります。

学生支援部入試担当書記補

加藤 海優



- 1 千葉県◆駒澤大学経済学部経済学科卒
- 2 音楽鑑賞
- 3 虎視眈々
- 4 視野を広く持ち、成長し続けられるよう努力します。

学生支援部就職担当書記補

森岡 愛翔



- 1 三重県◆皇學館大学現代日本社会学部卒
- 2 野球観戦
- 3 勇往邁進
- 4 日々努力することを忘れずに、成長していくことを約束します。

学生支援部教職支援担当事務嘱託

教職アドバイザー

岡村 昭



- 1 三重県◆皇學館大学文学部教育学科卒、元小学校校長
- 2 ウォーキング、ソログター
- 3 継続は力なり

- 4 教職経験を生かし、教員をめざす学生の皆さんのサポートに尽力したいです。

学生支援部学生担当事務嘱託

クラブ合宿所 管理人

松田 悠佑



- 1 奈良県◆皇學館大学大学院教育学研究科教育学専攻修士課程修了
- 2 音楽鑑賞、パン屋巡り
- 3 不可能は限りなく可能に近い
- 4 何事にも前向きに取り組む、私自身も成長できるように努めています。

学生支援部学生担当事務嘱託

精華寮夜間管理人

新井 健太郎



- 1 三重県◆皇學館大学教育学部卒
- 2 スポーツ観戦
- 3 素直に、謙虚に、ひた向きに
- 4 寮の学生たちが充実した生活を送ることができるよう全力でサポートしていきます。

皇學館高等学校

高等学校教諭

河原 英幸



- 1 三重県◆関西大学総合情報学部総合情報学科卒業、元関西大学北陽高等学校教諭
- 2 バasketボール
- 3 成功の反対は失敗ではなく挑戦しないことである。
- 4 生徒の想いに寄り添い、共に学び成長してまいります。

高等学校常勤講師

上田 康



- 1 三重県◆東京理科大学工学部数学科卒、元県立高校教諭

- 2 スポーツ観戦
- 3 大器晩成

- 4 生徒が充実した高校生活が送れ、さらに進路実現ができるよう助言・支援したいと思います。

高等学校常勤講師

川口 奈緒子



- 1 三重県◆皇學館大学文学部国文学科卒
- 2 読書、映画鑑賞
- 3 継続は力なり
- 4 生徒の学校生活が充実したものになるよう、精いっぱい頑張ります。よろしくお願ひします。

高等学校常勤講師

小山 澄人



- 1 三重県◆慶応義塾大学商学部卒。元県立高校教諭
- 2 囲碁、音楽鑑賞
- 3 雲外蒼天
- 4 生徒一人ひとりの進路実現のサポートに全力で取り組んでまいります。

高等学校常勤講師

中村 野愛



- 1 三重県◆京都女子大学文学部史学科
- 2 旅行、映画鑑賞
- 3 七転八起
- 4 生徒の皆さんと共に成長できるよう努力していきたいと思っています。

高等学校常勤講師

増田 圭佑



- 1 兵庫県◆皇學館大学文学部国史学科卒
- 2 サウナ、フットサル
- 3 勇往邁進
- 4 生徒と共に日々成長できるよう精一杯頑張ります。

就職者ボイス 神職編

- ① 志望動機
 - ② 苦労したこと
 - ③ 克服法や工夫、成功の秘訣
 - ④ 後輩へのアドバイス
- コロナ禍の中、夢を叶えた先輩たちの声を紹介します。

石川 紗菜(神道)

【奉職先】田村神社



- 中学生のとき古事記を読んで日本の神々の魅力に触れ、もっと知りたいと思った。また、大学で学ぶ中で神道を広め伝え、神と人とを繋ぐ「ナカトリモチ」になりたいと強く考えるようになった。
- コロナ禍のため移動する際はとても気を使った。
- 電話や書類送付など「報・連・相」を絶やさず行った。情報交換は必要。
- 早くから準備をはじめ、先生方ときちんと連携を取ることが大切。少なくとも事前指導が入る時期までには候補をいくつか決めておく必要があると感じた。

小山手 公平(神道)

【奉職先】住吉大社



- 神職として奉仕していた曾祖父や精華寮の先輩の人柄、神道について学ぶ姿勢に憧れたため。
- 書道や雅楽など神社で用いる技術や資格といった形として残るものを身に付けていなかった。
- 奉仕活動に積極的に参加し、多くの神社に参拝した。茶道部への入部。神社検定2級を取得した。
- 自分の長所や短所、大学生活で頑張ったことを言語化し、相手に届く伝え方を考える。外国に留学すると神道・神社をより客観視できると思う。

千歳 富貴(神道)

【奉職先】寒川神社



- 神社が日本の文化や歴史に深く携わることのできる場であること、また女性神職の存在を高校生の頃に知り、憧れを抱いた。
- 女性神職の求人数が少なかったこと。
- 求人票が更新される度に神職養成部に足を運んだ。養成部の先生には何度も面接練習をしていただき、自身の望む神社と繋げていただいた。
- 奉職している先輩から話を聞くなど情報収集すること。少なくとも、ご奉仕したいと思う神社のご由緒や歴史は早くから深く学んでおく。

西口 宏太(国史)

【奉職先】真清田神社



- 幼少から何度も参拝する中で神職に憧れを持ち、国体の護持、祭祀の厳修に努める姿に強い魅力を感じた。
- 「自己PR」「志望動機」を簡潔に分かりやすくまとめることが難しかった。
- 神職養成部の先生や友人に意見をもらい、文章の質を上げた。マナー講座など就職担当開催の各種講座、説明会が非常に役立った。
- 実習だけでなく奉仕にも積極的に参加していろいろな神社を知ることが大切。授業では得ることのできない経験は、神職を志す上で財産になる。



河野訓学長より学位記を受け取る各学部の総代



井村月南さん 中田朱音さん 庄山美有さん

総代・各種表彰者

総代	文学研究科国文学専攻博士前期課程	池上 遥平
	教育学研究科教育学専攻修士課程	山下 晟弥
	神道学専攻科	三井 比以呂
	文学部神道学科	山本 怜奈
	文学部国文学科	庄山 美有
	文学部国史学科	清水 七妃
	文学部コミュニケーション学科	汐崎 玲奈
恩賜奨学賞	教育学部教育学科	中田 朱音
	現代日本社会学部現代日本社会学科	井村 月南
大宮司賞	文学部神道学科	坂田 果南
	文学部国文学科	市川 桃子
	教育学部教育学科	坪田 桃果
理事長賞	現代日本社会学部現代日本社会学科	佐藤 空
	文学部コミュニケーション学科	河宮 優香
学長賞	文学部国史学科	中林 弥奈
	神道学専攻科	萬谷 文香
統理賞	文学部神道学科	松本 滯
	文学部神道学科	石川 紗菜
長谷奨学賞	文学部神道学科	中井 達也
	文学部神道学科	中井 達也
送答辞	文学部国史学科	河西 一成
	文学部国文学科	櫻井 希
社会福祉士養成校の養成課程修了者に対する協会表彰		佐藤 空
現代日本社会学部現代日本社会学科		
精神保健福祉士養成校の養成課程修了者に対する協会表彰		奥村 光貴
現代日本社会学部現代日本社会学科		
保育士養成課程の卒業生に対する会長表彰		中西 陽菜
教育学部教育学科		

就職内定率97.5% 令和3年度卒業生 就職状況

令和3年度卒業生701名(9月卒業生含む)の就職状況は、就職希望者597名のうち就職決定者は582名となり、就職希望者に対する内定率は97.5%となった。

※学科別就職率、分野別就職者については別表参照

神社関係 54名が奉職(自家神社含、学部のみ)

求人神社数137社216名(男子149名、女子51名、男女問わず16名)に対し、奉職状況は神道学科が男子34名・女子15名、国史学科が男子1名・女子2名、コミュニケーション学科1名、教育学科1名となった。大学院・専攻科等の学部以外は男子10名・女子2名であった。

教職関係 三重県小学校・合格者占有率は県内大学で10年連続トップ

小・中・高の教員に139名(正規/公立65名、講師74名)、幼稚園・保育園へは53名(正規/公立22名・私立31名)が就職した。三重県小学校については全合格者287名中、本学は過年度卒業生を含め116名と合格者占有率は40.4%を占め、10年連続、県内大学でトップを堅持している。

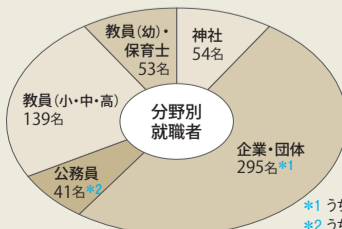
公務員関係 計41名が採用 国家公務員は昨年度の倍

国家公務員10名【刑務官(5)・自衛官(5)】、地方公務員31名【三重県(司書)・三重県市町立小中学校職員(3)・愛知県

市町村立小中学校職員・四日市市役所・鈴鹿市役所(4)・津市役所(3)・松阪市役所・伊勢市役所・尾鷲市役所・名張市役所・明和町役場(3)・南伊勢町役場・大紀町役場・東京消防庁・名古屋市消防局・警視庁・三重県警(4)・大阪府警・佐賀県警】が採用された。

今年度の就活環境 オンライン化がさらに進展 就職決定状況は例年並み

新型コロナの感染拡大によって、一時は「就職氷河期の再来」が危ぶまれた令和3年度卒の就職活動。しかし、一部の業界や企業で採用抑制や採用中止といった動きがあったものの、学生の積極的な活動により就職決定状況は例年並みとなった。



志高く、706名が巣立つ 令和3年度学位記・修了証書授与式

3月18日、令和3年度学位記・修了証書授与式が挙行され、学部生文生13名の計706名がそれぞれの決意を胸に力強い一歩を踏み出した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一昨年度、昨年度に続き規模を縮小して挙行された令和3年度学位記・修了証書授与式。神宮参拝に代えて神宮遥拝が行われ、式典は各学部の総代と各賞受賞者が記念講

堂、その他の卒業生は各学科別の会場からリモートで参加した。国文学科の庄山美有さんは授業でのペアワークをきっかけに学科の垣根を越えた幅広い交友関係を築くことができたと思

「人前が出るのは苦手だと思いついて入っていたが、授業での発表を通じてそうではない自分に気付いた。進路の選択肢が広がり、からは営業職として働く予定」と顔をほころばせた。教員になる夢をかなえた教育学科の中田朱音さんは「大学では友人に恵



記念講堂での式典の様子は各教室にライブ配信された

令和3年度卒業生 就職状況

学 科	卒業生			就職率 C/B
	卒業生 A	就職希望者 B	就職者 C	
神 道	男	44	41	95.1%
	女	20	17	100.0%
	計	64	58	96.6%
国 文	男	39	28	89.3%
	女	50	39	94.9%
	計	89	67	92.5%
国 史	男	65	50	100.0%
	女	27	23	91.3%
	計	92	73	97.3%
コミュ	男	42	36	100.0%
	女	55	44	97.7%
	計	97	80	98.8%
教 育	男	97	83	97.6%
	女	152	139	100.0%
	計	249	222	99.1%
現 日	男	92	82	97.6%
	女	18	15	93.3%
	計	110	97	96.9%
合 計	男	379	320	97.2%
	女	322	277	97.8%
	計	701	597	97.5%

コロナ禍2年目である令和3年度卒の採用プロセスの実施状況を見ると、企業説明会・セミナーはオンライン実施(個別説明会82.4%、合同説明会72.0%)が主流となり、「面接(Web)」は78.4%で「面接(対面)」の87.0%に及ばなかったが、昨年度の69.8%からは、8.6ポイントの増加だった。オンライン上での活動がさらに活発化していることが分かる。(出典：(株)リクルート就職みらい研究所「就職白書2022」)

採用手法がオンライン化する中で、本学においても Web による面談・面接練習・エントリーシート添削等、可能な支援方法を確立し、引き続き、全面的なサポートを継続していく。

●保護者対象就職講演会・説明会を開催します。詳細は本紙6面

Regional Collaboration 地域連携

本学と鈴鹿中等教育学校・鈴鹿高等学校が連携

校種の枠を超え連携し、教育の活性化を図ろうと、本学は鈴鹿中等教育学校・鈴鹿高等学校と連携協定を締結した。これは、中高生徒に本学の魅力を知ってもらう、交流・連携を通じて視野を広げ、主体的な学習意欲を高めてもらいたい」と本学が提案し実現したもので、県内高等学校と同様の

協定を結ぶのは本学にとって私立高田高等学校に次いで2校目。この協定により、本学教員による出張講義や本学の各種公開講座を中高生徒が聴講するといった活動が実施される予定だ。

3月28日、鈴鹿高等学校内の情報メディア教育センターLHCホールにて連携協定調印式が行われ、鈴鹿中等教育学校の渡



辺久孝校長(兼理事長)、鈴鹿高等学校の松井慎治校長、本学の河野訓学長が協定書に署名。渡辺校長は「これまでになく新しい価値を創造する連携のあり方を構築し、双方で発展していけたら」、河野学長は「交流を深めることで、社会



署名する河野学長(手前)と渡辺校長

で活躍できる人材育成に繋がりたい」とそれぞれ挨拶した。

教育交流・連携の活動内容は次の通り。

- 1 大学教育による中等・高校への出張講義
- 2 指定校推薦入試等
- 3 大学の各種公開講座への聴講生の受入れ
- 4 中等・高校と大学双方の教育課程・教育内容・教育方法等に関する意見交換
- 5 その他、中等・高校と大学双方が協議し同意した事項

CLL活動「広報いせ特集記事制作プロジェクト」が最優秀賞

高等教育コンソーシアムみえ主催 令和3年度「みえまちキャンパス」

県内14の高等教育機関と三重県とで構成する「高等教育コンソーシアム」が学生の地域活動を支援しようと開催している「みえまちキャンパス」でCLL活動「広報いせ特集記事制作プロジェクト」が最優秀賞を受賞した。

誰もが読みやすい文章の作成などに苦労しながらも、活動を通して多くの人と出会い、自然とコミュニケーション力が養えたと話すメンバー。本城美紗稀さん(国文4)は「すごく光栄なこと。これを糧に今後も活動を続けていきたい」と話した。



増井香苗さん(現日4)と本城さん(右)

令和4年度 CLL活動一覧

- 1 皇學館みらい対話団(伊勢市)
- 2 度会カフェリョクプロジェクト(度会町)
- 3 産学官連携日本酒プロジェクト(明和町)
- 4 農業の魅力発見! 南紀みかん援農隊プロジェクト(東紀州地域(熊野市及び御浜町))
- 5 「広報いせ」特集記事制作プロジェクト(伊勢市)
- 6 TMKミライデザインプロジェクト(玉城町) 明るい未来推進プロジェクト(玉城町)
- 7 地域活性化サポーターズFIT(伊勢市)
- 8 ぱりっ子会議から市政への提言プロジェクト(名張市)
- 9 だんだんお花畑プロジェクトin玉城町(玉城町)
- 10 ハビふるプロジェクト(伊勢市)
- 11 The Histories of Ise 行政文化資源の利活用(伊勢市)
- 12 宇治山田駅前賑わい創出事業(伊勢市)
- 13 えりはらのぼんやさん(志摩市)
- 14 若者への「スマホでみえ得キャンペーン」利用促進プロジェクト(伊勢市)
- 15 若者の投票率UP! プロジェクト(伊勢市)
- 16 竈方集落(限界集落)デザインプロジェクト(南伊勢町)
- 17 いせ移住PR支援プロジェクト(伊勢市)
- 18 鳥羽なかま(仲間ち)で地域活性化に取り組もう!(鳥羽市)
- 19 リニアインパクト最大化プロジェクト(伊勢市)
- 20 児童・生徒とともに学び成長するプロジェクト(伊勢市)
- 21 大学生「立志塾」(松阪市)
- 22 Kitchen Project(伊勢市)
- 23 オール三重ムービーサポーターズ(志摩市)
- 24 「gift of Ise(仮)」プロデュースプロジェクト(伊勢市) **NEW**

外国人留学生、受入れ再開

政府による入国制限の緩和を受け、本学は留学生の受入れを再開した。4月6日にはポーランド・ワルシャワ大学の留学生が入国。中国からの編入生もこの4月に入学し授業を受けている。引き続き万全の感染対策に努め、学生が安心して学修できる環境を整えていく。

第3回英語発信力コンテスト 西出美郷さんが個人・最優秀賞

本学コミュニケーション学科主催の第3回英語発信力コンテストで以下の動画作品が優秀作品に選ばれた。

個人・最優秀賞の西出美郷さんは英語による模擬授業の動画を応募。パワーポイントのアニメーションを駆使し、現在完了形の継続用法をわかりやすく説明した。



- 【個人部門】**
- 最優秀賞 西出美郷さん(コミ令和3年度卒) English lesson(模擬授業)
- 優秀賞 竹森円香さん(教育4) 中学英語 模擬授業(模擬授業)
- 【団体部門】**
- 最優秀賞 Search ALEATORIC [中川優希さん・高塚凜さん](コミ4) Ise Shrine(プレゼンテーション)

現日生のプランが佳作受賞 33FGビジネスプランコンテスト2021

現代日本社会学科3年の富山正之さん、平井陸さん、山下諒さんが企画した「あなたに観光を届けるVR観光配信サービス」が「33FGビジネスプランコンテスト2021」【学生コース】において佳作に選ばれた。



佳作受賞に喜びの表情を見せる3人

VRを通して自宅に居ながら観光地を巡ることができる同サービス。現地の案内人やオンライン上のツアー仲間との交流が楽しめ、移動が困難な高齢者や体の不自由な人、昨今のコロナ禍で旅行を控えている人など多様な利用者が見込める。また、VR観光中にお土産を購入したり、賽銭を投げる、おみくじを引くといった体験要素、さらにはCGを使ったリアルな空間により圧倒的な没入感を演出するといったアイデアを盛り込んだ。

学生ならではの若い力、柔軟な発想で地域の活性化や課題解決に取り組んでもらいたい。

中條ゼミ生4名が入賞 テーマ「道」—第12回「言の葉大賞」®

テーマに沿った800字の作文を募集するコンクール第12回「言の葉大賞」において中條敦仁教授ゼミに所属する教育学科令和3年度卒業生の奥田七海さん、



快挙を喜ぶゼミ生たち

亀井端さん、瀧口陽菜さん、兵頭友里さんの4名が応募総数2万6453点の中から見事入賞を果たした。瀧口さんは2年連続入賞の快挙。また、昨年に続き「学校賞」も受賞した。

今回のテーマは「道」。瀧口さんの作品「はじめの一步」は自分には何もできないという自信のなさから進路を決められずにいた瀧口さんが教育実習先の子どものたちからもらった手紙をきっかけに「教師」という道をめざし、夢を叶える「はじめの一步」を踏み出そうとする前向きな思いを綴っている。次回の募集テーマは「つなぐ」。募集期間は令和4年5月1日から9月30日まで。

県議会議場で「豊栄の舞」奉納



県議や傍聴者、県職員ら約60名が鑑賞した



開催の喜びも込めて舞う部員たち

雅楽部の学生9名が3月24日、三重県議会の本会議場において太陽の恵みと日への感謝を込めた「豊栄の舞」を奉納した。これは、コロナ禍で発表の場が少なくなっている若者の文化活動を支援しようと、県議らで構成する団体の発案による。

雅楽部にとって練習の成果を学外で披露できたのはこの1年で2回目。植木さんは「今回の奉仕を通して日本伝統の良さに改めて気付かされ、このような機会をくださった三重県議会の方々には感謝しかありません。これからも多くの方々に雅楽の魅力を伝え、感動を届けるために、部員一同より一層精進したい」と語った。

雅楽部の学生9名が3月24日、三重県議会の本会議場において太陽の恵みと日への感謝を込めた「豊栄の舞」を奉納した。これは、コロナ禍で発表の場が少なくなっている若者の文化活動を支援しようと、県議らで構成する団体の発案による。

雅楽部にとりて練習の成果を学外で披露できたのはこの1年で2回目。植木さんは「今回の奉仕を通して日本伝統の良さに改めて気付かされ、このような機会をくださった三重県議会の方々には感謝しかありません。これからも多くの方々に雅楽の魅力を伝え、感動を届けるために、部員一同より一層精進したい」と語った。

高校・中学校

高中で卒業式・入学式



手指消毒、マスク着用など万全の感染対策のもとで執り行われた高校卒業式

皇 學館高校第57回卒業証書授与式が3月1日に挙行され、325名が倉田山から巣立った。本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して実施。卒業生を代表して答辞を述べた岡野希世さんは「全国一斉休校」というかつてない経験をしながらも学年別体育大会や1泊2日の修学旅行など工夫して行われた行事を振り返り、「多くの人の知恵や努力、熱い思いによって置かれた環境を乗り越え、新たな価値を創造していける」とコロナ禍で得た学びを語った。



答辞を読む岡野さん(高校)

同月19日には皇學館中学校で第41回卒業式が執り行われ、37名が新たな門出を迎えた。答辞を読み上げた山中美璃依さんは「周囲に支えられて今の自分たちがある。世界の情勢を見ても、こうして平和で自由な時間を共有できることは決して当たり前なことではない」と語り、卒業生一同、高校へ進学してからも互いに高め合いながら各自の夢に向かって成長していくと誓いを述べた。



山中さん(中学校)

入学式は皇學館中学校が同校セミナーホールにおいて4月7日、皇學館高校は同月9日に大学記念講堂にて午前午後の2部制で執り行われ、それぞれ19名、354名の新入生が参列した。今年度より就任した芝崎俊也学校長が「伊勢神宮をいただく



宣誓する長尾さん(高校)



新入生代表の迫本さん(中学校)

この地で日本の伝統と文化の中心にある神道に基づき、正しく明るく直き心の精神を身に付けた生徒をすべての教育活動を通して育てていく。皆さん一人ひとりが本校の伝統と本校に流れる精神に誇りを持って」と祝辞を述べた。新入生を代表して中学校では迫本菜那さんが、高校は松原佑芽さんと長尾太暉さんが宣誓した。

高校3号校舎トイレを改修

生 徒がより快適に安心して利用できるよう、2月1日より進められていた高校3号校舎2階・3階男女トイレの改修工事が3月末に終了した。本工事により床を湿式から乾式へと変更。さらに新型コロナウイルス感染症対策の観点から換気・照明を自動感知式にし、手洗いも自動水栓を設置するなど非接触ニーズに対応した。3年7組の牧坂笑歩さんは「雰囲気明るくなり、使いやすくなって嬉しいです」と使用後の感想を話した。



生徒からの評判も上々の男子トイレ(上)と女子トイレ(下)

高校

就任のご挨拶

皇學館高等学校・中学校 校長
芝崎 俊也



私は、皇學館大学創立百周年時に卒業の国史学科18期生です。以来、県立高校や県教育委員会事務局での勤務等を経て、創立百四十周年を迎える節目の年に皇學館高等学校・中学校の校長を拝命いたしました。よろしくお願い申し上げます。現在、少子化の急激な進展や技術革新の急速な発展により、社会構造が大きく変化するなか、初等中等教育におきましても、これらの変化に柔軟かつ迅速に対応していくことが求められています。一方で国際情勢も激動期を迎え、我が国の在り方が問われています。このような状況下であるからこそ、建学の精神のもと、我が国の歴史と伝統を守り伝え、日本人としての誇りをもった有為な人材の育成が、より大切であると考えています。これまで培ってまいりました教育行政等での知見や経験を活かし、皇學館高等学校・中学校の発展に力を尽くしてまいりたいと心を新たにしております。今後とも両校へのご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

合格者インタビュー 6年制卒業生

夢を実現すべく志望校に合格した2名に
今後の抱負や後輩へのメッセージを語ってもらった。

毎日を大切に

久保 侑 熙 ◆名古屋大学 経済学部経済学科



受験勉強に先ず大切なことは勉強の習慣を養うことだと思います。私は2年生の秋から最低6時間は勉強する習慣をつけていたため3年生になってからもスムーズに毎日10時間以上勉強に取り組むことができました。また皇學館高校には自習室があり、放課後も一定の時間勉強できる環境があるので、家で集中できない人にはお薦めしたいです!

次に模擬試験について。模擬試験の結果が最初はE判定でも、諦めずに勉強を継続していけば必ず合格できます。私自身も早稲田大学、慶應大学については最初の模擬試験はE判定でした。そんな中でライバルを見つけて、共に切磋琢磨することによって私は何事も諦めない心を持てるようになりました。それが受験を通して成長できた点だと思います。

最後になりましたが、みなさんが第一志望校に合格することを心から願っています。頑張ってください。

目標を持って

藤田 浩 輝 ◆三重大学 医学部医学科



私は世界で活躍するアスリートを心身両面からサポートする整形外科医になりたいという夢があります。その夢を実現するために、陸上競技部に所属しながら、2年生の夏から本格的に受験勉強に取り組み始めました。受験勉強に取り組む中で、私が常に大切にしてきたことは、日々の授業を決しておろそかにしないことです。それは、日々の授業の延長上に受験があるからです。また、苦手科目は克服を目指し、得意科目は弱点のないように演習を重ねたことも大切にしてきたことの1つです。

受験を通して実感したことは、目標を持つことの大切さです。私は小学校の頃から将来の夢や志望校が決まっていたため、早いうちから勉強のモチベーションを維持しながらゴールへ向けて一直線に学習を進めることができました。高校生活では様々なことに挑戦し、自分の可能性を広げてください!

皇學館 クラブ応援メッセージ募金の御礼

本法人では、クラブ活動を通して学生・生徒の主体性等を伸ばすために、令和2年度より「皇學館クラブ応援メッセージ募金」を開設しました。

令和3年度もたくさんの皆様にご支援をいただきましたことを厚く御礼申し上げますとともに、募金納入状況をご報告させていただきます。

「皇學館クラブ応援メッセージ募金」は、ホームページから、ご指定するクラブへの募金手続きやクレジット決済がお申し込みできます。いただきました募金は、ご指定されたクラブに直接お渡しし、投稿いただいたクラブへのメッセージはホームページで随時ご紹介させていただきます。

本年度も引き続き、皆様からのご支援・ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

詳細は右記より寄付金ページでご確認ください。



区分	件数	納入金額(円)
宗教界	0	0
企業	1	30,000
館友	18	211,000
誓の会会員	1	30,000
高等学校保護者	0	0
中学校保護者	0	0
一般(篤志家等)	5	186,000
本法人関係	2	20,000
合計	27	477,000

指定先クラブ名	件数	配分金額(円)
1 大学硬式野球部	10	130,137
2 大学空手道部	2	14,694
3 大学駅伝競走部	2	5,901
4 大学祭式研究部	2	78,025
5 大学雅楽部	1	797
6 大学柔道部	3	29,540
7 大学排球部	3	131,922
8 大学合気道部	1	49,583
9 大学よさこい部"雅"	1	4,885
10 大学茶道部	1	9,770
11 大学居合道部	1	10,000
計	27	465,254
代行手数料*		11,746
合計		477,000

*代行手数料：クレジット会社等の決済代行に伴う手数料。

就職講演会・説明会 保護者対象 開催のご案内

10月9日(日) 13:00~15:30 事前予約制

就職講演会 13:00~14:30 ◆231教室

コロナ禍での"就活"事情と保護者の支援
講師 ● 田上潤平氏 マイナビ 副編集長

進路別就職説明会 14:40~15:30

- ◆ 神社への就職について(神職養成担当).....222教室
- ◆ 企業・官公庁への就職について(就職担当).....231教室
- ◆ 教員・保育士への就職について(教職支援担当).....234教室

詳細は、HPにてご確認ください。 <https://www.kogakkan-u.ac.jp/>

お問い合わせ先 ● 皇學館大学 就職担当 TEL 0596-22-6319

教学振興会 寄付者芳名

ご挨拶

学校法人皇學館理事長 小串和夫

平素より本法人の教育・研究活動に対し、格別のご高配を賜り、謹んで厚く御礼申し上げます。

さて、未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症状況ですが、そうした状況下に関わらず、多くの方々よりご入会・ご支援をいただき、改めて皆様方のご芳志に對しまして、心から厚く御礼申し上げます。

教学振興会では我が国の歴史・伝統を学び祖国を愛する心を涵養するとともに、社会有為の人材となるべく、本法人に学ぶ学生・生徒たちが安心安全かつ充実した教育環境で成長していただけるよう、修学支援に最善を尽くす所存です。

令和3年度 ご入会者ご芳名(再継続者含む)

- 企業**
三重県 株式会社伊藤工務店様
三集グリーン様
株式会社森組様
有限会社宇田ミート様
ナゴヤシンコー株式会社様
- 館友**
京都府 北川茂廣様
三重県 川口未来様
香川県 豊嶋政宏様
- 一般(篤志家等)**
大阪府 杉本秀司様
岡山県 内海誠仁様
千葉県 平澤牧人様

本法人関係

- 教職員(五十音順)
小大岩井井石石石池荒浅
申島崎上関橋橋井山木井
和信正真伸真弘世幸誠
夫生彌美芳由美考津子志徹司
様様様様様様様様様様様

- 個人情報保護に関する法律の施行に伴い、ご芳名の掲載をご希望されない方々については、別記とさせていただきます。
- 館友2名 ●一般(篤志家等)1名 ●本法人関係33名
- クリストファー・メイヨー様
齋藤愛美様
駒田聡子様
小瀬古学様
桐村知喬様
木村榮里子様
北野佳子様
北橋之代様
川野一誠様
上倉一郎様
尾上誠一郎様
山邊敬枝様
山形大枝様
諸岡大輔様
村上俊様
水本克様
松野士様
堀井仁様
藤原正憲様
東浦百子様
早川照彦様
濱川静弘様
秦村昌哉様
西井哲弘様
中川隆明様
中井良司様
中井英誠様
中住佑功様
豊田孝紀様
玉田昌秀様
谷戸中裕様
田中烈様
高向孝裕様
勢木正裕様
鈴木野武様
杉野子尊様
佐藤平様

令和3年度 教学振興会寄付金納入状況報告

令和4年3月31日現在

区分	令和3年度		平成26年度~令和3年度合計	
	寄付件数	寄付金額(円)	寄付件数	寄付金額(円)
宗教界	5	320,000	1,252	143,870,000
企業	5	660,000	139	9,750,000
館友	16	328,000	2,194	26,720,000
誓の会会員	1	50,000	1,809	13,240,000
高等学校保護者	0	0	549	4,035,000
中学校保護者	0	0	184	1,700,000
一般(篤志家等)	6	47,000	47	4,203,000
本法人関係	153	3,375,000	1,242	18,337,500
合計	186	4,780,000	7,416	221,855,500

OPEN CAMPUS 2022

未来が広がるスペシャル DAY ■ 12:30-17:00 無料 | 要予約
10/29のみ 10:00~

6 / 12 Sun 7 / 10 Sun 8 / 6 Sat 8 / 7 Sun 10 / 29 Sat

お申し込みはこちらから>>>

高校3年生・既卒生限定

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、イベントは中止(または延期)する可能性がございます。詳細は、HPにてご確認ください。

Event information	詳細は各校HPをご確認ください
皇學館中学校 ◆ 皇中祭(文化祭) 10/22(土) 10/23(日) ◆ オープンスクール 9:30~ 第1回 6/26(日) 第2回 8/20(土) 第3回 11/6(日)	皇學館高等学校 ◆ オープンスクール 10:00~ 第1回 9/3(土) 9/4(日) 第2回 10/9(日) 第3回 11/13(日)
中・高・大合同企画 ◆ 皇學館 DAY 皇學館高等学校吹奏楽部 第15回定期演奏会 9/19(月・祝) 場所：三重県文化会館・大ホール	



イベントカレンダー

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、変更・中止となる場合がございます。

令和4年度生涯学習事業 皇學館大学 月例文化講座

年間テーマ 皇學館大学創立百四十周年・再興六十周年記念事業 明日を切り拓く教育 担当●教育学科

時間●各日とも午後2時より 定員●各回90名[先着順] 場所●皇學館大学 記念講堂 **無料・要申込**

- 第1回 6/18(土) 大杉成喜教授 明日を切り拓く特別支援教育 —テクノロジーによる障がい支援、これまでとこれから—
- 第2回 7/2(土) 加藤純一教授 解釈する身体・解釈しない身体 —武道論的視座からのアプローチ—
- 第3回 8/20(土) 駒田聡子教授 食生活で心と体の健康を保つ力を育む
- 第4回 9/10(土) 高橋摩衣子准教授 小泉文夫の音楽教育論から読み解く、教材としてのわらべうたの役割
- 第5回 10/8(土) 中條敦仁教授 これまでの国語、これからの国語 —教科書の物語文を一緒に読んでみませんか—
- 第6回 11/12(土) 渡邊賢二教授 教育現場の現状と支援について
- 第7回 12/3(土) 渡邊毅教授 明日の学校を創る道徳教育

申込方法 対面形式かオンデマンド配信か受講方法を選択できます。詳細は公式ホームページをご覧ください。 <https://www.kogakkan-u.ac.jp>

※新型コロナウイルス感染症予防のため、来学によるお申込みはご遠慮願います。また、お電話での受付も行っておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先 皇學館大学 地域連携推進室 TEL.0596-22-8635

近鉄文化サロン阿倍野 共催講座

- 会場●近鉄文化サロン阿倍野
- 詳細は近鉄文化サロン阿倍野(Tel.06-6625-1771)へお問い合わせください。 **有料・要予約**
- 6/11(土) 15:30~ 1日・短期講習会 皇室の基礎知識V —宮家(親王家)の歴史— 講師●松本丘(文学部教授)
 - 6/25(土) 15:30~ 1日・短期講習会 伊勢神宮はいつできたのか? —内宮鎮座の暦年代を探る— 講師●荊木美行(研究開発推進センター教授)
 - 7/2(土) 15:30~ 1日・短期講習会 古代摂津国の伝説と風土記 講師●橋本雅之(文学部教授)
 - 7/16(土) 8/6(土) 15:30~ 1日・短期講習会 『日本書紀』を読む 講師●大島信生(文学部教授)
 - 7/30(土) 15:30~ 1日・短期講習会 神道と仏教「火の信仰」 講師●河野訓(学長・文学部教授)
 - 8/20(土) 15:30~ 1日・短期講習会 ヤマトタケル 交通拠点の旅 講師●遠藤慶太(文学部教授)
 - 9/10(土) 15:30~ 1日・短期講習会 『伊勢参宮名所図会』を読む 津~松阪 講師●岡野友彦(文学部教授)

新刊紹介

資料叢書第十輯 神宮御師資料 山本大夫家文書 皇學館大学研究開発推進センター史料編纂所編 定価 2200円 B5判・172頁

徳川將軍家や有力公家を檀家とする内宮御師山本大夫家文書の翻刻。内宮御師の資料としては稀有の存在で、神宮研究への活用が期待される。

ご注文の際は大学ホームページから、もしくは下記へお電話またはFAXにてご連絡ください

皇學館大学出版部 TEL・FAX 0596-22-6320

- 書名・冊数・住所・氏名・電話番号をお知らせください。
- お支払いは郵便振込にてお願いします。
- 別途送料(440円)をご負担いただきますので、ご了承ください。

Information インフォメーション

人事異動

令和4年4月1日付

()内は旧職

大学

採用

文学部助教 平石 岳
教育学部准教授 小川真由子
教育学部助手 松村かをる
神職養成部神職養成担当 小林 尚彦
主事 加藤 海優

昇格

総務部研究開発推進センター事務室 主幹 大谷 千帆
(総務部研究開発推進センター事務室主事) 梅川 紗綾
教育開発センター 主事 高木 曹慈
(教育開発センター主事) 程野 晶子
企画部企画担当 主事 伊東 雅法
(企画部企画担当主事) 一路 侑杜
学生支援部助教担当 主査 岩脇 優那
(学生支援部助教担当主査) 新井健太郎

再任用

文学部特別教授 橋本 雅之
学生支援部学生担当 大木 雅人
寮監(事務嘱託) (学生支援部学生担当事務嘱託) 川西三喜子
学生支援部学生担当 川西三喜子
寮監(技能職員) (学生支援部学生担当寮母) 吉川由喜子

任用

現代日本社会学部准教授 瓜田 理子
(現代日本社会学部特命准教授) 河原 英幸
学生支援部学生担当 森本佳代子
学生寮技術嘱託 上田 康
学生寮技術嘱託 吉川由喜子

高校・中学校

採用

高校教諭 西井みのり
高校常勤講師 辻井 桃子
高校常勤講師 高木 曹慈
高校常勤講師 岩脇 優那
高校常勤講師 新井健太郎

昇格

高校教諭 西井みのり
高校教諭 辻井 桃子
高校教諭 高木 曹慈
高校教諭 岩脇 優那
高校教諭 新井健太郎

配置換

高校教諭 西井みのり
高校教諭 辻井 桃子
高校教諭 高木 曹慈
高校教諭 岩脇 優那
高校教諭 新井健太郎

再任用

高校教諭 西井みのり
高校教諭 辻井 桃子
高校教諭 高木 曹慈
高校教諭 岩脇 優那
高校教諭 新井健太郎

卒業生 奮闘中!



ひろせ 千子さん
メキシコ「グアダラハラ補習授業校」教員
教育学科 第50期平成27年3月卒

私は今、メキシコ第二の都市・グアダラハラにある「グアダラハラ補習授業校」で日本人駐在員の子どもを中心に約30名を教えています。

卒業後、名古屋市の小学校で特別支援学級を6年間受け持ちました。この経験を生かし新しいことにチャレンジしたいの思いと、コロナ禍でも後悔しない選択、時間の使い方をしたいとの思いがぶつかり、気が付いたら行動を起こしていました。

文部科学省職員が校長を務めるこの学校は世界に4校しかない准全日制の補習授業校です。授業は月曜から金曜まで、1日2時間。生徒は年中から中学校3年生までと幅広く、日本に帰国後、スムーズに学校生活に馴染めるようにとの趣旨で運営されています。子どもたちは文化や言語などそれぞれのバックグラウンドを持ち、個性豊か。指しを待つ子もいれば、興味の赴

くま行動しトラブルを起こしてしまう子もいます。そうしたときに大切なのは「どうしてそうなったと思う?」と問いかけること。恐れることなく失敗を積み重ねられる環境を整えることで子どもたちが自身が失敗から学び、主体性が育っていくと考えています。思い返せば、皇學館大学は先生に何でも相談でき、学生との距離がとてに近い大学でした。私も子どもたちと接するときはその心地よい距離感を保てるよう心掛けています。また、「皇学」の授業で学んだ神道や日本文化についての知識が文化の違いを説明するときに役立っています。

後輩の皆さんには二度と戻つてこない学生時代を楽しみ、「コロナ禍だからできない」ではなく、「コロナ禍でもできること」と目を向け、自分の幸せを諦めずに生きていってほしいです。

グアダラハラ補習授業校-グアダラハラ補習授業校 公式ホームページ <https://colegiojaponesgdj.jimdofree.com>

卒業式衣裳レンタル学内展示会開催!

早期展示会でお気に入りの1着を見つけよう!

日時 7/7(木) 10:00~16:00
7/8(金) 10:00~16:00

場所 9号館5階 951大会議室



新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、展示会は内容変更、中止(または延期)する可能性があります。詳細は、皇學館サービスHP及び学内掲示板にてご確認ください。

すぎしんスペシャル特典

- 1 当日は学内または外宮前特設会場では着付・ヘアアレンジができるので、手ぶらでラクラク!
- 2 学内で脱いでそのまま帰るのでとっても便利!
- 3 レンタル価格より10%OFF
- 4 半巾着、きんちゃん、草履を無料レンタル
- 5 謝恩会のゲストドレスがどれでも6,000円でレンタル!

お問い合わせ KOGAKKAN Service Co., Ltd. 皇學館サービス株式会社 TEL 0596-22-8561 E-mail k-service@kogakkan.co.jp

皇學館サービス株式会社は学校法人皇學館100%出資会社です。【取扱・斡旋】損害保険・下宿・自動車学校・スーツ・レンタカーなど

衣裳提携先 SUGISHIN すぎしんは創業68年を誇る三重県最大の老舗衣裳店です。

卒業生随想

春からそれぞれの志す道を歩き始める卒業生たち。学生生活を振り返り、彼らの胸中に去来するさまざまな思いを語ってもらった。

学問的刺激

神道学科 松崎晋彦

就職先 乃木神社



日本海の荒波寄せる小さな漁村の神主家で私は育った。北海道乙部町は箱館戦争官軍上陸の地である。当時の村人が結束して新政府軍の上陸を助けたという歴史的背景があるからか、皇學館大学へ進学する私を氏は大変喜び、私自身も希望に満ちていたことを思い出す。順調な学校生活を送っていたが、しかし絶望の淵に立たされることがあった。それまで大学へと続く沿道の並木や花があんなに鮮やかで美しかったのに、その頃の私が見た木々や花には色が無かった。

3年次からのゼミでは学問的刺激を受け、卒業論文の執筆に情熱を燃やした。崇仏論争で敗れたとされる物部守屋の後裔に関して研究し、歴代神職として生きた物部氏の気高い精神を知り得、感銘を受けた。物部は敗れたのではないと感じた時、自分のこれからの目標がはっきり見えた。私は神に好かれる神職を目指す。

過ごした時間を大切に

国文学科 川村花音

就職先 三重県職員(図書館司書)



皇學館大学で過ごした4年間は私にとってかけがえない時間であった。

興味・関心のある分野が同じ国文学科の学友とは、互いの意見を交えながら新しい知見を得ることができた。自分一人だけでは決して見つけることのできなかった考え方や捉え方など、他者と交流したことで得ることができたこれらは今の私、そして今後の私を形作る上でなくてはならないものであると感じている。

また、授業以外にも部活動や課外活動では多くの経験を積ませてもらった。これらの活動では他の学科の学生や学外の方と接する機会もあった。異なる分野の人々と同じ目標を目指して取り組んだ経験は、これから社会人となり多くの人と関わり合いながら課題を達成していかねばならない私にとって大変貴重なものになったといえるだろう。

大学生活の中で得た経験を大切に、支えてくれたたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずにこれからの社会生活も努めていきたいと思う。

何にも代えがたい財産

国史学科 小松侑未

就職先 熱田神宮(事務)



皇學館大学で学んだ4年間は、これまで歩んできた人生の中で一番充実した時間であったと思います。寮生活を通してたくさんの素敵な友人・後輩に恵まれたこと、尊敬する先生方のもとで勉強させていただけたことは、何にも代えがたい財産となりました。

この4年間の中で特に印象に残っていることは、館史資料をはじめとする様々な史料の整理、目録作成のお手伝いをさせていただけたことです。授業以外でも史料に触れる機会をいただけたことで、史料を保存し活用していくことの大変さと大切さを改めて学びました。

最後に、ご指導して下さった先生方、ここまで支えてくれた家族に心から感謝しています。本当にありがとうございました。お世話になった方々に社会人として立派になった姿をいつかお見せできるよう、精進してまいります。

すべてをやり遂げられた環境に感謝

コミュニケーション学科 前田翔大

就職先 社会福祉法人四日市福祉会垂坂山ブルーミングハウス



入学時は長いと考えていた4年間は、実際に過ごしてみるとあっという間であった。日々の勉強や友人と過ごす時間、部活動や実習など充実した生活があったからこそである。

大学3年生に上がる直前には新型コロナウイルスが猛威を振るいはじめ、授業がオンライン形式になり、部活動が制限されるなど、大学生活の様々なことに影響が出た。大学に来て勉強することや部活動に参加することが好きな自分にとっては、苦痛な生活が続いた時もあった。それでも、充実した環境があったからこそ、ここまで過ごしてこられた。

入学した時から憧れていた心理学の講義や研究を4年間続けられたこと、教員免許取得のために勉強に励んだこと、福祉についても勉強ができたこと、すべてをやり遂げることができた。私はこのような環境を与えてくれた皇學館大学に感謝している。

多くの人の支えと努力の先に叶った「夢」

教育学科 田中美有

就職先 三重県小学校教員



「学ぶ楽しさを伝えられる教師になる」

私は、小さい頃に抱いた夢を叶えるために皇學館大学に入学した。大学生活は毎日が楽しく、充実していた。特にゼミ活動は、私の学生生活を華やかにしてくれた。難しい教育書や哲学書を読み、仲間の前で発表したり、討論したりする日々…決して楽ではなかったが、発表が終わったあとの達成感は味わい深く、仲間と意見を交わすことで多くの発想に出会えた。さらに、3年生秋には学生主体の勉強会「つばさ」の副リーダーに就任。運営がうまくいかず悩むこともあったが、同じ夢を持つ仲間と切磋琢磨するなかで、苦手を克服し、自信をつけることができた。不器用な私が夢を叶えられたのは、できなくても諦めずに努力を続けてこられたからである。これからも私を支えてくれるすべての人に感謝し、ひたむきに努力を続け、成長していきたい。

大学での経験を誇りに、地域貢献

現代日本社会学科 宮崎遥南

就職先 三交不動産株式会社



皇學館大学での4年間がなければ、夢や目標を諦めた人生になっていたのではないと思う。

1・2年次は地域社会研究会にて、授業で学んだことを実践にうつすことに力を入れ、主体的に行動する力が身に付いた。3年次には産業社会実習を通し、学んだことや経験を社会に出てどう役立てていくかを考え、人生の目標を設定することができた。

現代日本社会学部では、社会のリアルな課題と向き合うため、正解がひとつに限定されることは少なく、さまざまな価値観や伝統を組み合わせ、自分なりの解決策を模索していく必要があった。高校までの勉強とはまた違った難しさと楽しさを感じ、自分の未熟さも、自分にできることも知ることができた。

卒業後も皇學館大学での経験を誇りに思い、社会人として地域に貢献していきたい。ご指導して下さった先生方、本当にありがとうございました。

すべてが新鮮で実りのあった一年

神道学専攻科 橋本雅輝

就職先 熊野那智大社



昨年度本学の国文学科を卒業し、父の後を追って神道を学ぶ道を選んだ。この一年は人生の中でも最も集中した期間だ。幼少期から漠然と身近に感じてきた神道を学べたことは、日本人として誇りに思える時間だった。その中で、新しい仲間や教授の方々、養成機関の方々との出会いは、私の人生の中で掛け替えのない財産であると感じている。講義や祭りにガムシャラに食らいついた春学期、初めての大神神社での実習、慣れない龍笛に悪戦苦闘した秋学期、父との最初で最後の神宮奉仕、すべてが新鮮で、とても実りのあった一年になった。また、コロナ禍の中で私たちの資格取得のために尽力して下さった方々には感謝しています。本学で学んだ5年間はとても濃い時間でした。今後は卒業生としての誇りを持ち、神明奉仕しつつ、人々を導いていく神主になります。

支えて下さった方々に感謝

大学院教育学専攻 丸山拓弥

就職先 三重県小学校教員



振り返ると、この2年間はとても多くの学びを得ることができた。大学院での講義は、先生方と議論をして、学びを深めた。議論では伝統文化や歴史学、経済学などあらゆる学問的な側面と、CBT(コンピュータ上で実施される試験)やSST(ソーシャルスキル・トレーニング)など現場で生かすことができる実践的な側面からご指導いただいた。

朝方まで研究することが当然の院生活では、熟慮する日々を過ごした。院生と共に自分たちの研究について語り合い、先生方からご指導いただくというとても貴重な経験を得た。

これほど有意義な時間を過ごすことができたのは、先生方のおかげである。本学の先生方は親身に関わって下さり、たくさんのご指導いただいた。感謝申し上げたい。また、先生方だけでなく、教育学科研究室や教職支援、学生担当の方々に多くの場面で助けていただいた。併せて心から感謝の意を申し上げたい。

【特別企画】河野学長 × 学生座談会 文理融合カリキュラムへの提言

～「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の導入を受けて～



「数理教育コース」の開設や全学生を対象とした「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の開講など、令和5年度から適用される新カリキュラムはこれまで以上に文理融合的な内容となっている。本企画ではこの度のカリキュラム改定の重責を担った筒井琢磨教育開発センター長の司会のもと、河野学長と各学部の学生が文理融合への期待や学修環境について意見を交わした。

- 座談会メンバー**
- 河野 訓 学長
 - 筒井 琢磨 教育開発センター長
 - 松村 瑠璃佳さん(国文3年)
 - 寺本 早希さん(教育3年)
 - 中村 友哉さん(現日3年)



9号館で行われた座談会。後列左から河野学長、筒井教育開発センター長、前列左から松村さん、寺本さん、中村さん

データから新たな価値を見出す

筒井センター長 ●「データサイエンス」についてどのようなイメージを持っていますか。
松村 ●「統計学基礎C(データサイエンス)」という選択科目があるので、いろいろなデータから答えを見つけていくイメージがあります。

河野学長 ●「データサイエンス」という言葉だけ聞くと「難しい」「理系」とのイメージが強いですが、調べてみると、多様な視点をもってデータから新たな価値を見出していく分野という風に感じました。
中村 ●義務教育で習った計算というよりは「AIプログラミング」や「社会調査」といったより専門的な数学技能を使う印象を受けました。

筒井センター長 ●皆さんがそれぞれ話してくれた3つの要素「データ」「数理」「AI」を満遍なく組み合わせると新しい価値を見出していく学問との認識でよいのかなと思います。
松村 ●新型コロナウイルス感染症が流行し始めたごく初期の頃はあまり危機感を持っていなかったのですが、感染者数などのデータが新聞やテレビで配信されるようになってから対策をきちんと取るようになってきました。いろいろな面でデータを活用でき、応用する力を身に付けられたいと思います。
筒井センター長 ●重症化率やベッド占有率といったデータを我々は今学んでいるところ。データの見方やどのようなデータが必要なのか、見極める力というのはデータサイエンスの応用になりますよね。
寺本 ●課題発見・解決能力に近づきたいと考えています。また、

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2日 入学式 2日 春学期通常講義開始(7月31日通常講義終了) 2日 手指消毒・検温指導(28日) 17日 近鉄文化サロン共催講座(聖徳太子と「日本書紀」) 17日 近鉄文化サロン共催講座(伊勢参宮の先導者たち―隆盛・廃止―) 17日 神明宮例祭 21日 神道学会総会 22日 国文学会総会・史学会総会「コミニケーション」学会総会 29日 教育学会総会「オンライン実施」現代日本学会総会 30日 創立記念日 皇學館大学デジタルアーカイブ公開	6日 手指消毒・検温指導(11日) 6日 高松奨励賞授与式 18日 オンライン授業(6月2日)	3日 手指消毒・検温指導(7日) 7日 月例文化講座①(アンバー・バルコ・コミュニケーションの役割) 7日 芳賀康朗(コミュニケーション・教授)「オンライン」配信(30日) 7日 特選生・特選生奨励会 13日 オープンキャンパス 24日 チャレンジプロジェクト公開プレゼン 26日 三重県生涯学習センター×皇學館大学×鳥羽市協働講座(船祭と伝統文化の継承) 齋藤平(国文・教授) 大政式	3日 近鉄文化サロン共催講座(伊勢参宮名所図会)を読む 5日 岡野友彦(国史・教授)「新時代のコミニケーション」としての地図―ハザードマップと旧版地形図の読み方― 桐村喬(コミュニケーション・准教授)「オンライン」配信(31日) 5日 オープンキャンパス 11日 神道研究所学術講演会(鎌倉時代中期における天照大神の密教化―通海による異国の認識と清瀧権現をめぐる―) 15日 松本郁代氏(横浜市立大学教授)「TOJISEMATA」の包括連携協定締結 16日 近鉄文化サロン共催講座(日本書紀)を読む 仁徳天皇(1) 大島信生(国文・教授) 24日 神道博物館共催講座(伊勢の町と御師) 谷戸佑紀(国史・助教) 31日 近鉄文化サロン共催講座(近代)を見た洪沢栄一・パリ万博参加と西欧体験(長谷川怜(国史・助教)	2日 月例文化講座②(言語の違いが物事の捉え方に及ぼす影響) 玉田貴裕(コミュニケーション・助教)「オンライン」配信(31日) 8日 オープンキャンパス 21日 コミニケーション学科主催 GS Day 伊勢 2021(オンライン実施) みえアカデミックセミナー2021(カラダの外に浸み出す「コロナ」―身振りや手振りの役割) 芳賀康朗(コミュニケーション・教授) 27日 志摩市との包括連携協定締結	4日 新型コロナウイルスワクチン接種 5日 11日 12日 18日 19日 25日 26日 月例文化講座③(令和を生きていく感情コントロール方略) 高沢佳司(コミュニケーション・准教授)「オンライン」配信(30日) 6日 神職養成部・教職支援担当・国際交流担当 窓口移転 8日 度会町との包括連携協定締結 14日 9月学位記授与式(卒業式) 17日 秋学期通常講義開始(全面オンライン授業) 9月30日、10月2日、10月10日 通常講義終了	1日 手指消毒・検温指導(4日) 1日 対面での授業再開 2日 新型コロナウイルスワクチン接種 3日 9日 10日 16日 17日 23日 24日 28日 佐川記念神道博物館企画展(御師制度廃止150年展) 伊勢参宮の先導者たち―隆盛・廃止―その後―(11月30日) 4日 大紀町との包括連携協定締結 7日 月例文化講座④(海を渡った日本古典) クリストファー・メイヤー(コミュニケーション・教授)「オンライン」配信(31日) 7日 名誉教授称号授与式 7日 ミネソタ・シニア・セミナー(伊勢参宮とは何だったのか) 小林郁(研究開発推進センター) 助教 7日 保護者対象就職説明会(説明会「コロナ禍での就職を取り巻く環境変化とサポート」の在り方)「オンライン」配信(会場参加併用開催) 10日 第33回出雲全日本大学選抜競走出場 14日 久瀬宮朝彦親王陵墓参拝 15日 神嘗祭神宮参拝 21日 久瀬宮朝彦親王百三十年祭 23日 近鉄文化サロン共催講座(日本書紀)を読む 仁徳天皇(2) 大島信生(国文・教授) 27日 教養講座「キャリアリトミック」(伊勢参宮の先導者たち―隆盛・廃止―その後) 小林郁(研究開発推進センター) 助教

